

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Association between blood lead exposure and mental health in pregnant women: results from The Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: 血中鉛濃度と妊婦のメンタルヘルスの関連:エコチル調査の結果より

ユニットセンター(UC)等名: メディカルサポートセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Neurotoxicology

年: 2020 月: 7 巻: 79 頁: 191

筆頭著者名: 石塚 一枝

所属UC名: メディカルサポートセンター

目的:

環境中の鉛は減っているが、低濃度でも健康に悪影響を及ぼす可能性が懸念されている。しかし、妊婦のメンタルヘルスと鉛の関連についての知見に乏しい。そこで、エコチル調査で妊婦のうつ症状と鉛の関連について調べた。

方法:

エコチル調査に参加した女性のうち、妊娠中の血中の鉛濃度を測定した17267人を対象に検討した。うつ症状は、K6とよばれる心理的ストレス尺度を用いて評価した。

結果:

鉛血中濃度は $0.58 \mu\text{g/dl}$ であった。血中鉛濃度とうつ症状の間に関連はみられなかった。これらの関連は、年齢、婚姻状態、社会的要因を考慮した解析を行ったが、結果は同じく鉛濃度とうつ症状との間に関連はみられなかった。

考察:(研究の限界を含める)

今回の研究では、妊娠中のうつ症状と血中鉛濃度に関連はみられなかった。一方で、血中鉛濃度は社会的要因と関連がみられた。今後、エコチル調査により、様々な化学物質と社会指標やメンタルヘルス・健康影響との関係が明らかとなることが期待される。今回は大規模調査であるため、うつの診断面接を行っていないという限界がある。また、鉛は骨に蓄積することが知られているが、今回は骨の鉛濃度は測定していないという限界がある。

結論:

妊娠中のうつ症状と血中鉛濃度との間には関連がみられなかった。